

山留昇降階段

【折畳式吊昇降階段】

●仕様

1.積載荷重

1段当り 最大 280kg (70kg×4名)

全体 最大4200kg (280kg×15段)

2. 吊り下げ段数

最大 15段 (15段×2m=30m)

3.構造

(1)吊材にはt12mmの平鋼を使用し手摺を溶接した構造です。

(2)断面手摺は取付け取外し式のパイプ手摺で2段です。

(3)床材は主材が角パイプで全面にわたりチェッカープレート張りです。

(4)床面の外周には全長にわたり巾木が取り付けられています。

(5)階段は上・下の床材間に組込まれているので引き出し、折畳時とも自動的にセットできます。

(6)段数の変更は吊りボルト・階段ボルトの取り付け、取り外しで簡単にできます。

(7)床主材の両端に壁当て材が内蔵されています。

●取扱及び架設方法

1.各部材取扱及び注意事項

(1)吊り架台(受梁)

吊り架台は専用の架台を使用してください。但しお手持の架台(H型钢等)を御使用の場合は、十分強度に耐えるかどうかチェックの上使用してください。

(2)吊りボルト

最上段及び各段の吊点には必ず所定の金具・ボルトを使用して、完全に締付けを行ってください。

(3)手摺

吊り下げの各段には専用手摺が組込まれていますが最上部(吊り架台部)の手摺は現場の状況により施工してください。

(4)当て材(振れ止め)

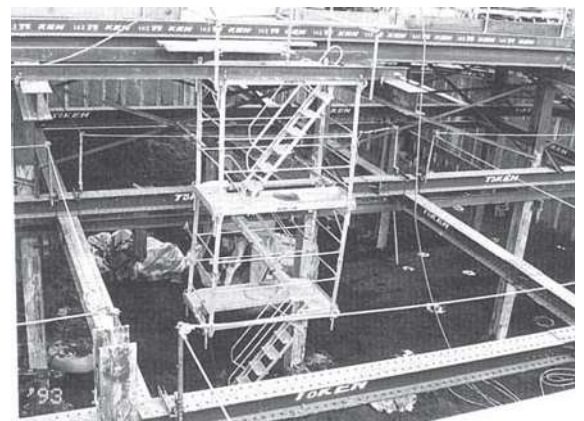
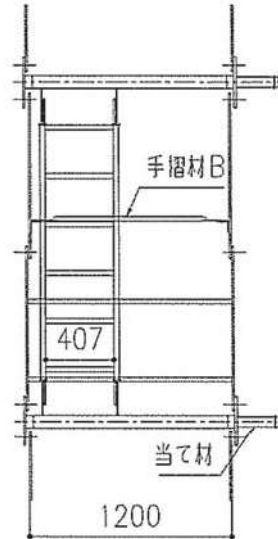
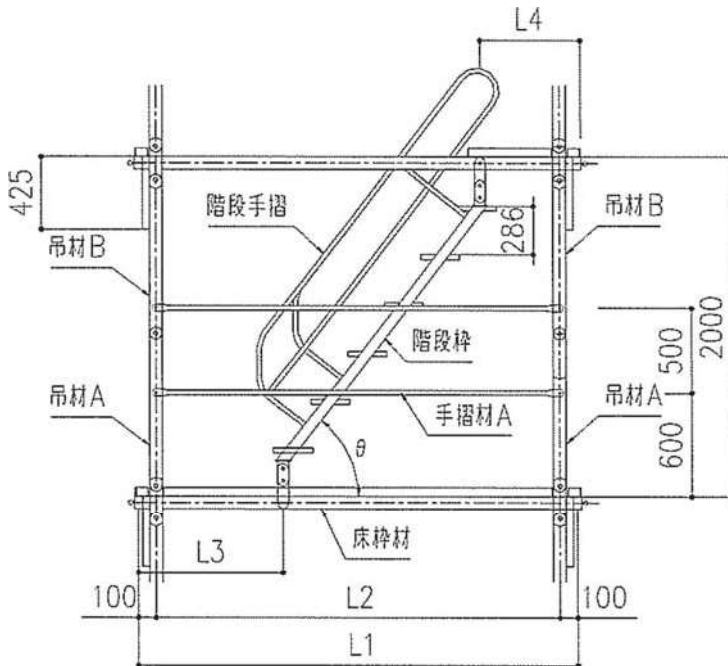
各段床枠材に壁面突き当て材が収納されています。状況にあわせて必要な段数突き当て材をセットしてください。さらに各床枠材に溶接されている吊りリングから引張材を取れば振れは完全に防止されます。

(5)その他

折畳及び吊下げ時、階段及び吊枠材(吊材)が正常な状態に納まっているかチェックの上使用してください。

(6)折畳式吊昇降階段に現場でのガス、電気溶接及び切断加工は絶対避けてください。

形状及び名称

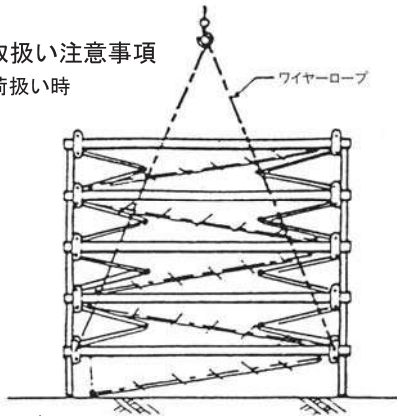


型式	外形寸法	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	θ	自重kg
HS-2400	2400×1200	2400	2200	840	560	45°	305

※自重は1段当りの重量を示す。

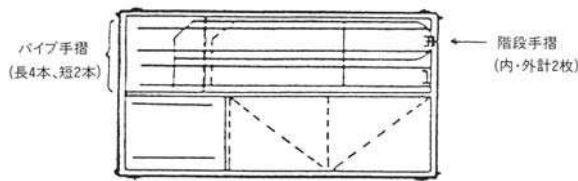
●取扱い注意事項

(1)荷扱い時



(2)折畳時

折畳の前には必ず手摺（取外し式）を取外し床材の所定の位置にセットして下さい。

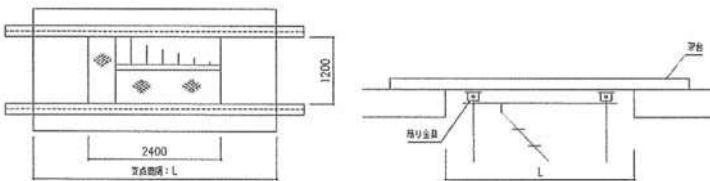


※直吊り用吊り金具取付ピースを使用する場合の注意事項

吊り架台の取付穴ピッチ及び径は山留用製品をリース対応できるように考えましたのでH鋼の長手方向にa100、幅方向150の穴ピッチで穴径は24φに合わせてあります。山留用H鋼のリース製品は最小サイズH-250があります。従って穴ピッチ及びサイズが合わない時は取付等を作製して吊り金具にセットできるようご配慮ください。

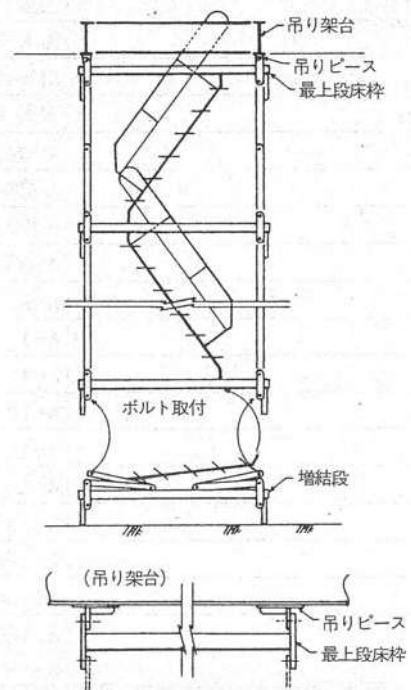
●架設方法（例）

(1)直吊りタイプ架台による各吊下段数時の積載及び使用架台サイズ表(長辺方向取付例)



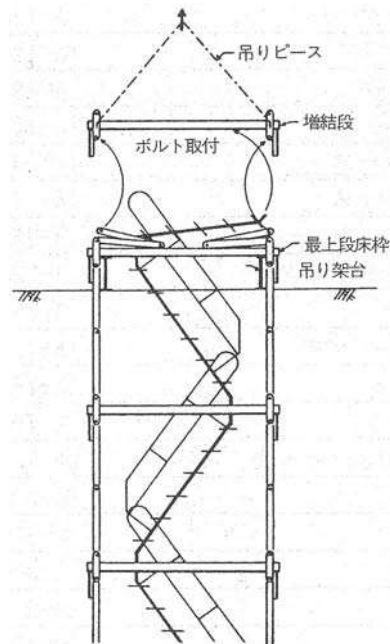
仕様 段数	自重 (kg)	積載 kg (281kg/m*max)	支時スパン別使用架台サイズ		
			~4mまで	~6mまで	~8mまで
1	305	280	H150以上	H175以上	H200以上
2	610	560	〃	〃	〃
3	915	840	〃	〃	〃
4	1,220	1,120	〃	〃	〃
5	1,525	1,400	〃	〃	〃
6	1,830	1,680	〃	〃	〃
7	2,135	1,960	〃	〃	〃
8	2,440	2,240	〃	〃	〃
9	2,745	2,520	〃	〃	〃
10	3,050	2,800	〃	〃	〃
11	3,355	3,080	〃	H200以上	〃
12	3,660	3,360	〃	〃	H250以上
13	3,965	3,640	〃	〃	〃
14	4,270	3,920	〃	〃	〃
15	4,575	4,200	〃	〃	〃

最下段枠より下に増結する場合



吊りピースと最上段床枠取付形態

最上段より上に増結する場合



※増結する場合、①増結段と最上段床枠間を結合し②クレーンにて全体を吊り③吊り架台引抜いた後④所定位置まで全体を下げ⑤再度吊り架台を差し入れセット完了とする。

取付方法

①吊り架台の床材の長辺方向に渡す場合

②吊り架台を床材の短辺方向に渡す場合

